

みんなで作ろう！！
笑顔でつなぐ 垣生のまち

**第2次 垣生地区
まちづくり計画**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）の実現に取り組みます。

垣生地区まちづくり協議会

第2次まちづくり計画策定にあたって

スローガン

「みんなでつくろう！！ 笑顔でつなぐ垣生のまち」

垣生地区まちづくり協議会は、地域住民や地域づくりを行う町内会、公民館、各種団体などが集まり、地域の様々な問題や課題を解決したり、魅力を伸ばしたり、話し合いや取り組みを重ねながらより暮らしやすいまちになるよう、まちづくりを進めて行く「場」として、平成26年4月1日に設立されました。

まちづくり協議会の設立後、アンケート調査、ワークショップや意見交換会などを行い、10年後の垣生地区を見据えた、垣生のまちづくりの“道しるべ”となる「第1次垣生地区まちづくり計画」を平成28年5月に策定し、これまで、地域の皆様と一っしょに垣生のまちづくりを進めてきました。

このたび「第1次垣生地区まちづくり計画」が作成されて以来10年の歳月が過ぎ、次の10年を見据えた「第2次垣生地区まちづくり計画」が作成され、引き続き誰もが住み良い「垣生のまち」の実現を目指して、地域の皆様と一っしょに垣生のまちづくりに取り組んでまいります。

「第2次垣生地区まちづくり計画」では、「第1次垣生地区まちづくり計画」における、“こんなまちにしたい！”という理想のまちの姿を承継しつつ、5つの分野「環境・都市計画」、「教育・文化」、「安全・安心」、「福祉」、「地域活性化」の各取り組みについて検証し、見直しを行いました。同時に、より機動的にまちづくり事業に取り組むことができるよう、まちづくり規約の改正を行います。

なお、「第2次垣生地区まちづくり計画」の期間は、令和8年5月から令和18年4月までの10年間としますが、地域の状況変化に対応し新たに取り組むべき課題や取り組み方法やなどについて、地域住民の皆様のご意見をいただきながら随時見直してまいりたいと考えています。

「みんなでつくろう！！ 笑顔でつなぐ垣生のまち」を合言葉に、理想のまちの実現に向けて、未来の垣生をいっしょに創りましょう。

令和8年5月22日

垣生地区まちづくり協議会

会長 仙波 隆

目 次

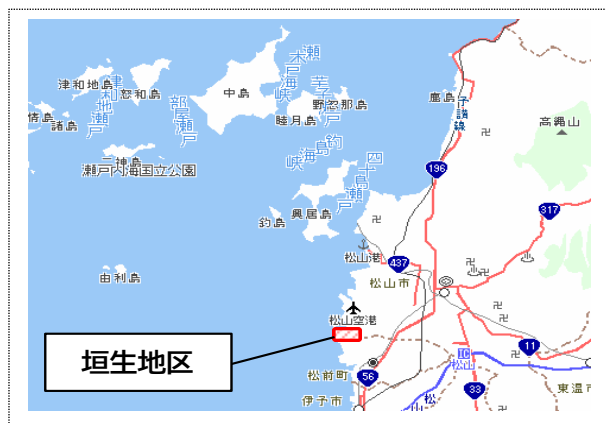
- 1 垣生地区の概要 P. 1
- 2 まちづくり協議会の構成 P. 2
- 3 これまでの取り組みを振り返って P. 3～8
- 4 第2次垣生地区まちづくり計画 P. 9～15
- 【資料】**
- 地区の沿革と郷土の偉人 P. 16～19

1. 垣生地区の概要

○ 歴史と文化の里 垣生



今出ヶ浜の夕日



松山市の南西に位置する垣生の里は、西は海の国立公園瀬戸内海に臨み、「島かと思えば岬なり、岬かと思えば島なり」と、その多島美は昔の小学校の教科書にも書かれていました。南には1級河川重信川が滔々と流れ、オバシキ、コチドリなどの野鳥が憩う楽園があります。東には西日本の最高峰で古来七霊山のひとつ霊峰石鎚山がそびえ立つ、すばらしい絶景が望めます。

～朝日の石鎚、夕日の伊予灘、四季折々趣あり風光明媚、豊かな自然に彩られたところなり～

歴史的にみると、平安時代の政治家・学者で、学問の神様と呼ばれる菅原道真公が筑紫の大宰府に下る途中、垣生の里を通り、勅使橋、槍分、波座、今出など、ゆかりの地名を残しました。垣生の地を去る時『今出(い)ず ※今、ここを出るよ』という言葉を残し、九州へ旅立ったと伝わっています。また、菅原道真公は和歌や書にも優れており『東風(こち)吹かばにほひをこせよ梅の花 主なしとて 春を忘るな』と詠み、梅を大切に想っていたようです。

郷土の偉人も忘れてはいけません。伊予絣(かすり)の創始者である鍵谷カナは、1782年(天明2年)に垣生村今出に生まれました。わら屋根の押竹の縄目の跡のまだら模様に関心を持ち、織物に応用したのが始まりと言われていています。染め方も青汁染めから藍染を考えました。小さいときから何事にも興味を持ち、一生懸命考える探究心の強い子どもであったと伝えられています。

垣生小学校の正門には、校訓「考える」の石碑がありますが、これも鍵谷カナ女の精神を受け継いでいます。さらに、村上霽月や石田波郷ら郷土の偉大な俳人の句碑がたくさん建っています。

『霽月翁と正岡子規が今出ヶ浜を散策した。』、『夏目漱石が離松の際に霽月翁を訪ねたが、留守で会えなかった。』などと伝わっており、今でも俳句をたしなむ人が多数います。垣生小学校の校庭の一面には俳句の小径(こみち)や広場があり、作品を掲示し、郷土の伝統をしっかり受け継いでいます。

このように、長い歴史と文化に培われた風土と土壌で生まれた「考える・学ぶ・伝える」精神がここにあり!! 今、多くの教育者が生まれています。

～地域の宝は人なり、歴史と文化の里 垣生～

2. 垣生地区まちづくり協議会の構成

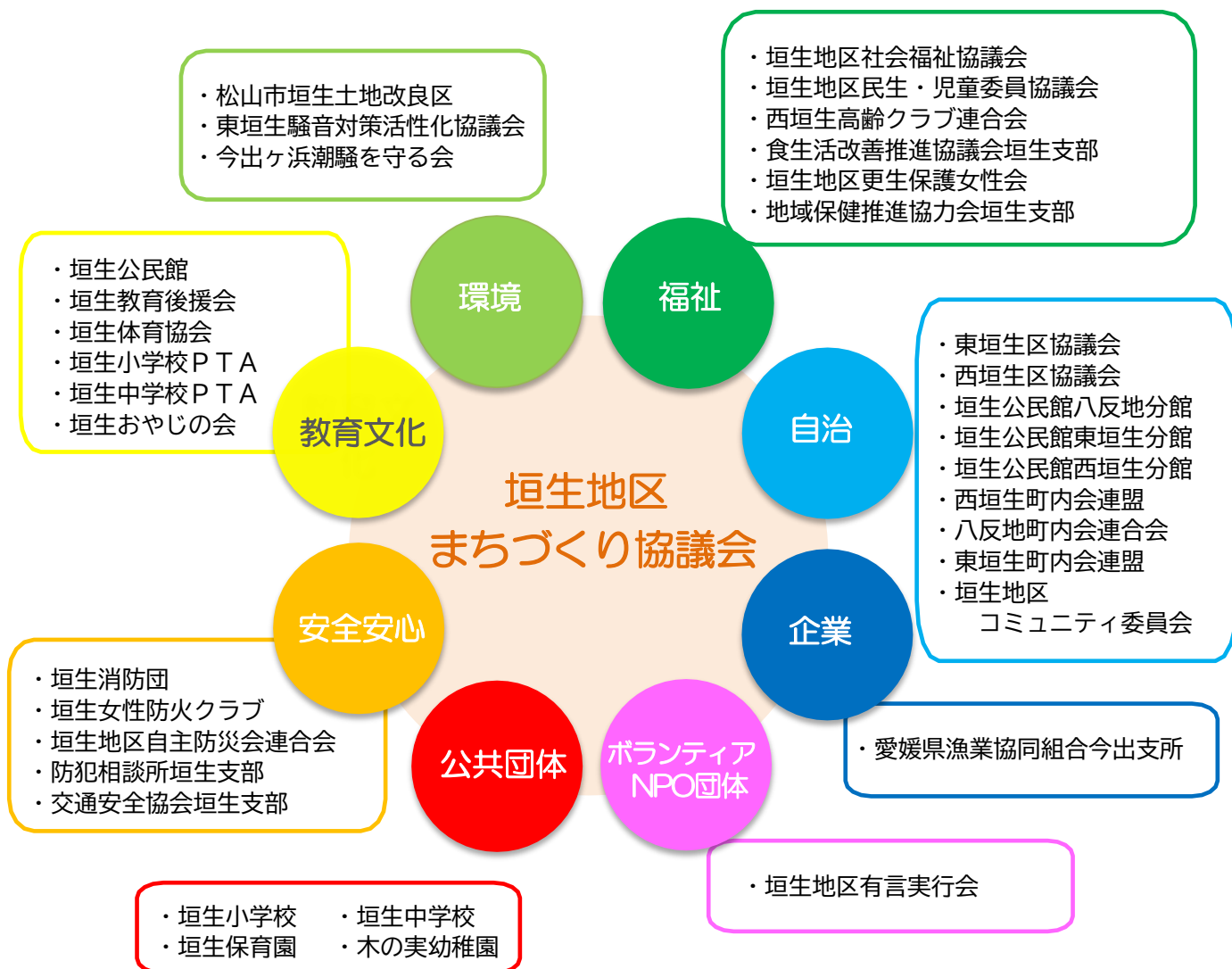
○ まちづくり協議会とは

垣生地区まちづくり協議会は、地域住民や地域づくりを行う町内会、公民館、各種団体などが集まり、地域の課題を解決したり、魅力を伸ばしたり、話し合いや取り組みを重ねながら、より暮らしやすいまちになるよう、まちづくりを進めて行く「場」です。

～みんなでつくろう！！ 笑顔でつなぐ垣生のまち～をスローガンに、理想のまちを実現する“道しるべ”として平成28年5月、「第1次まちづくり計画」を策定し、この10年間、様々なまちづくり活動を進めてきました。引き続き、こんなまちにしたい！という理想のまちの実現に向けて、この度、「第2次まちづくり計画」を策定しました。

これからも、オール垣生の体制で力を合わせて、まちづくりを進めて行きましょう。

○ 垣生地区まちづくり協議会参加団体



3. これまでの取り組みを振り返って

○ 垣生地区まちづくり協議会のあゆみ

平成25年 1月29日	垣生地区まちづくり協議会準備会設立総会
平成25年 2月末日	住民アンケート実施
平成25年 5月30日	垣生地区まちづくり協議会準備会総会
平成25年5月～12月	地区づくり支援セミナー参加
平成25年 7月29日	まちづくり学習会を開催（講師：若松進一アドバイザー）
平成25年10月17日	伊予市双海町「人間牧場」について研修
平成26年 1月23日	スローガン決定『みんなでつくろう！！ 笑顔でつなぐ垣生のまち』
平成26年 3月27日	垣生地区まちづくり協議会設立総会
平成26年 4月 1日	垣生地区まちづくり協議会「設立総会」（松山市認定協議会第13号） 垣生地区まちづくり協議会「規約の施行」
平成27年 9月28日	第1回まちづくり計画策定ワークショップ開催（講師：前田眞氏）
平成27年11月19日	第2回まちづくり計画策定ワークショップ開催（講師：前田眞氏）
平成28年 5月12日	「第1次垣生地区まちづくり計画（H28.5～H38.4）」の届け出 ～第1次垣生地区まちづくり計画に基づく事業の実施～
令和 元年11月26日	垣生地区タウンミーティング開催「垣生地区のまちづくり」について
令和 4年 1月27日	「はぶのまち」電子写真のサイトをインターネット上に開設
令和 4年 2月 1日	松山市に「公民館主体の複合施設建設について」要望書を提出
令和 4年 3月20日	「垣生まち歩きマップ」発行
令和 4年12月 8日	「今出西国三十三観音霊場めぐり」パンフレット発行
令和 5年 8月 5日	垣生まちづくり協議会創立10周年記念「垣生の夏まつり」開催
令和 7年 1月16日	臨時総会開催「垣生地区複合施設建設整備」説明会
令和 7年12月16日	臨時総会開催「垣生地区複合施設整備（公民館建設）要望書」報告会
令和 7年12月24日	「垣生ふるさと探訪（ものがたり）」小冊子発行
令和 8年 5月22日	「第2次垣生地区まちづくり計画（R8.5～R18.4）」の届け出予定 ～第2次垣生地区まちづくり計画に基づく事業の実施～

○ 垣生 の宝・魅力の発掘と情報発信

～ふるさと垣生の歴史・文化を大切に伝えながら地域の魅力を育むまち～

垣生に残されている観音堂の現地調査や、石田波郷、村上霽月の俳句めぐり、伊予かすりの創始者『鍵谷カナ』の顕彰など、地域の魅力ある宝物を発掘して情報を発信し、垣生の歴史文化を後世に引き継ぐ取り組みを進めています。

「垣生まち歩きマップ」、「今出西国三十三観音霊場めぐり」、「垣生ふるさと探訪（ものがたり）」を作成。「垣生まち歩きマップ」は、鍵谷祭や地区文化祭をはじめ、広く校区外の方々にも、垣生地区の魅力や歴史、文化などを紹介しています。親子で参加できるスタンプラリー「新春ふれあいウォーク」は、今出西国三十三観音霊場めぐりを実施。歴史解説あり！地元のお接待あり！と、健康増進にもつながるイベントとして好評です。

また、「垣生ふるさと探訪（ものがたり）」小冊子は、手軽な片手サイズとなっており、まち歩きに携帯いただきながら、垣生の名所、旧跡、歴史を紹介したガイドブックに仕上げています。



今 出
西国三十三観音
霊場めぐり



○ 花いっぱい垣生のまちづくり

～地域の自然を守り育てながら、
さらに美しいまちへ～

「花や緑に囲まれた美しいまち」をめざし、高齢クラブと協働して地域の景観と調和した花壇づくりに取り組んでいます。

また、町内に花の資材を提供し、活動を支援するなど、地域住民が交流をし、つながりを深めることで、地域への愛着を育てます。



日々草

花いっぱいの輪を垣生のまち全体に広めましょう

○「はぶのまち」電子写真を開設

～垣生のまちの過去と未来をつなぐページ～

「時代とともに変化する「垣生のまち」の姿を後世に残したい・・・」という目的で、パソコンやスマートフォンからご覧いただけるように、サイトにデジタル写真館を開設し、公開しました。音声ガイド機能を追加しバージョンアップしていきます。

地域の方々が保管している写真をデータ化し、※はぶのまちの5つの部屋に分類しています。

- ※は・・・俳句の里「垣生」
(俳句、句碑)
- ※ぶ・・・文化の風薫るまち
(文化財、民間信仰)
- ※の・・・のびのび育つ「垣生っ子」
(教育、学習施設、子ども行事)
- ※ま・・・まちの暮らし「今・むかし」
(今出海岸、風景、生業、伊予餅)
- ※ち・・・地域のつながり
(祭り、地域行事)



○デジタル化の推進

～デジタルを活用したまちづくり～

「はぶのまち」電子写真は、まちづくり協議会の中においても先駆的な取り組みですが、地域コミュニティにDX化を推進しよう！と、まち協役員が、LINE、FaceBook、Instagramの講習を受講しました。役員会等の会議開催連絡に活用しています。

SNSの活用により、まちづくり協議会の取り組みを、若い世代向けにも広報し、参加したくなるような情報提供を行います。



○垣生のまつり

～地域の活性化につながる取り組み～

令和5年8月5日、垣生地区まちづくり協議会設立10周年記念行事として、「第5回 垣生の夏まつり」を開催しました。毎年1500名を超える地域住民が集い、こどもも大人もいっしょに楽しむ盆踊りの輪で交流を深めています。

令和7年度「第7回 垣生のまつり」は、開催時期を真夏から熱中症対策を考慮して9月下旬に変更開催。垣生中学校放送部による司会進行、地元の諸団体、愛媛大学インターンシップの協力による出店販売、松山アーバンデザインセンター研究生によるワークショップの開催など、若者が企画参加するまちづくりイベントに進展しています。



○垣生小学校敷地内に複合施設建設

～地域コミュニティづくりの拠点となる施設の建設要望～

令和4年2月、松山市長宛てに「公民館主体の複合施設建設」要望書を提出しました。

その後、令和6年11月、「垣生小学校体育館の改築」に伴い、1階に公民館、支所、学校施設を配置し、2階を体育館とする複合施設整備計画に、地域の要望に応えたいと、松山市から提案があり、複合施設構想の実現に向けて建設計画を進めています。

○第1次垣生地区まちづくり計画の検証

～こんなまちにしたいという理想のまちの姿 5つの分野の検証～

<環境／都市計画>

- 環境保全に努め、自然を守る
 - ・清掃活動や希少生物の保護など、地域住民の参加による活動を継続。
- 花や緑に囲まれた美しいまち
 - ・花いっぱい垣生のまちづくり活動を通して、少しずつではあるが進捗あり。
- ごみの減量や排出ルールの徹底に努める
 - ・啓発チラシ、ゴミステーションへのポスター掲示による活動を継続。
- エコ活動・資源の節約で環境にやさしいまち
 - ・家庭でできるエコ活動は地域住民に浸透しつつある。
- 快適に住める生活環境を整える
 - ・空き家対策、はみだし樹木の整備など、徐々に良くなっている。

<教育文化>

- 郷土の歴史・文化を継承する
 - ・「垣生まち歩きマップ」を作成し全戸配布。「今出西国三十三観音霊場めぐり」等のパンフレットを作成し「新春ふれあいウォーク」鍵谷祭などで活用している。
- 次世代の担い手・人材を地域で育てる
 - ・俳句大会、小学生とのまち歩き、鍵谷祭のこども相撲大会などの開催により、多世代間のコミュニケーションづくりを継続実施している。
- 地域の魅力を育み発信する
 - ・SNS上で電子写真の閲覧ソフトを活用し、地域の魅力発信を継続。

<安全・安心>

- 災害に強いまちをつくろう
 - ・地区自主防災会連合会による防災士の育成、小学生との防災まち歩き、指定避難所である小・中学校をメイン会場に地区総合防災訓練を実施。
- 防犯対策を推進する
 - ・地域での防犯パトロール実施、特殊詐欺等の防止チラシを全戸配布し予防啓発を実施。
- 防犯対策を推進する
 - ・通学等でのこども見守り活動等を実施。

<福祉>

- 福祉活動を推進する
 - ・独居高齢者宅への家庭訪問、各集会所でのサロンの実施。
 - ・こども食堂の開設。
- 健康づくりを推進する
 - ・サロン等の活動で健康体操を実施。
 - ・健康講座等の種々取り組みを実施。

<地域活性化>

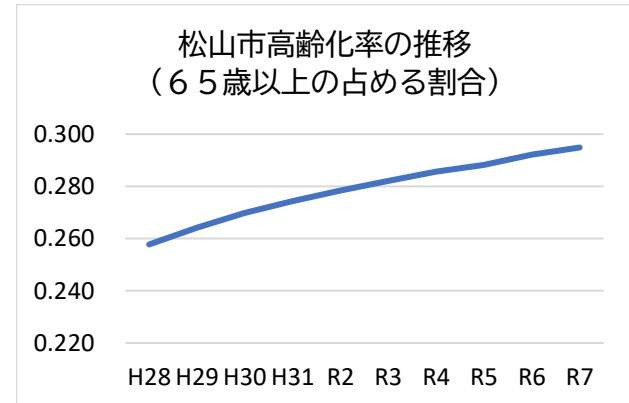
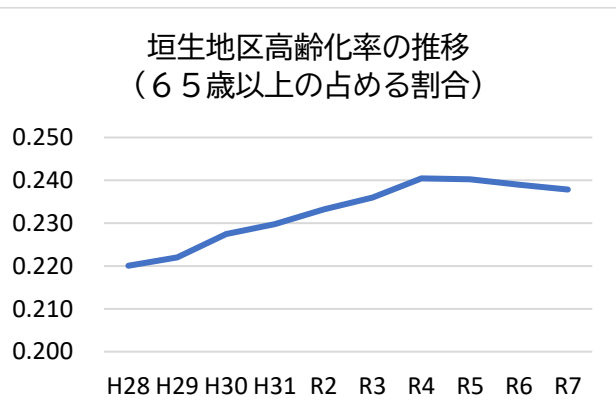
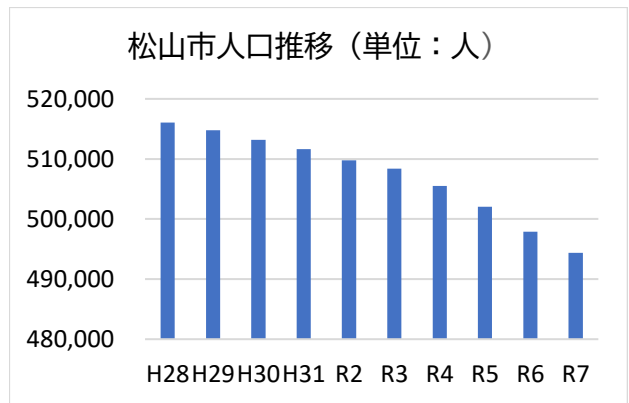
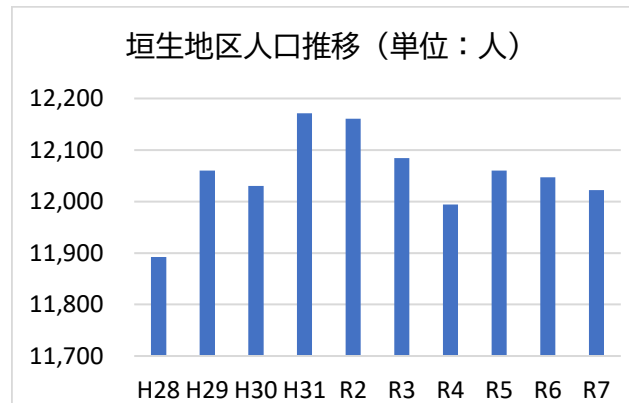
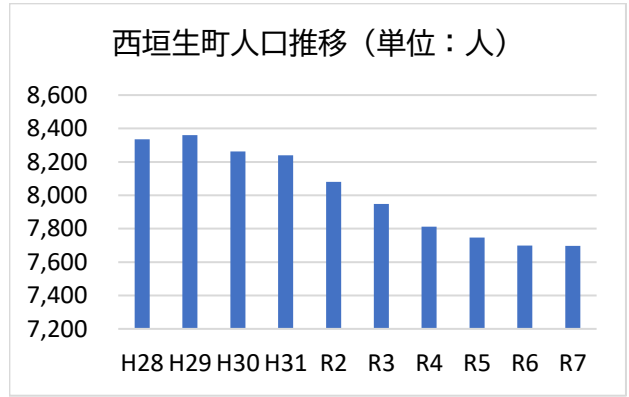
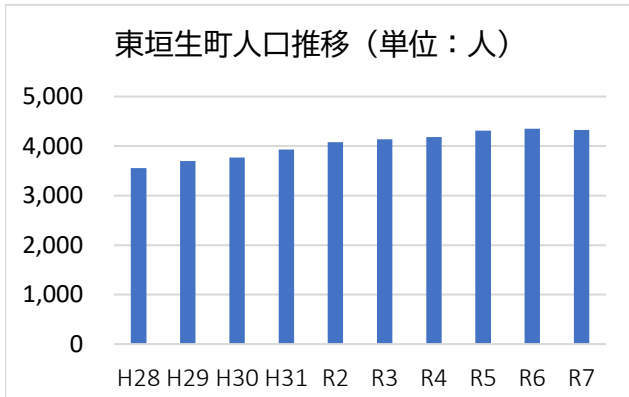
- 地域資源を活用する
 - ・冊子、チラシ、パソコン等各種媒体を活用し地域情報の収集・発信を実施。
- 住民が盛んに交流する
 - ・垣生のまつりの復活、鍵谷祭、新春ふれあいウォーク、地区文化祭など、交流イベントを開催している。

○垣生地区の人口動態（住民基本台帳登録人口の推移※松山ホームページ）

～平成28年から令和7年（各年4月1日現在）～

垣生地区の人口は、平成28年から令和7年までの間に、11,892人から12,022人に増加した。この間、松山市の人口は21,714人減少し50万人を下回る状況となった。

また、垣生地区の高齢化率は上昇傾向にはあるが、令和7年は23.8パーセントに留まり、松山市の29.5パーセントと比較すると、65歳未満の住民の占める割合が大きく、次世代にまちづくりを継承できる潜在的な基盤を有している。



4. 第2次垣生地区まちづくり計画

「第1次垣生地区まちづくり計画」が10年間の計画期間の終わりを迎えるにあたり、今回、次の10年を見据えた「第2次垣生地区まちづくり計画」を策定し、引き続き、理想のまちの姿の実現を目指して、地域の皆様と一っしょに垣生のまちづくりに取り組んでまいります。

「第2次垣生地区まちづくり計画」では、「第1次垣生地区まちづくり計画」における、“こんなまちにしたい!”という理想のまちの姿を承継しつつ、5つの分野「環境・都市計画」、「教育・文化」、「安全・安心」、「福祉」、「地域活性化」の各取り組みについて検証し、見直しを行いました。

なお、第2次垣生地区まちづくり計画期間は令和8年5月から令和18年4月までの10年間としますが、地域の状況変化に対応し、新たに取り組むべき課題や取り組み方法などについて、地域住民の皆様のご意見をいただきながら、随時、見直しを行います。

また、松山市は2020年に国から「SDGs未来都市」に選定されており、垣生地区まちづくり協議会は、第2次まちづくり計画の推進を通じて、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現を目指します。



SDGsとは・・・

2015年に開催された国連サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。その中に掲げられた「持続可能な開発目標」のことを、SDGs (Sustainable Development Goals) と言います。SDGsは、2030年を目標年に、貧困や飢餓、環境問題のほか、教育やジェンダー、経済成長といった課題を広く網羅した17の目標で構成されています。

これらは、豊かさを追求しながらも地球環境を守り、「社会・環境・経済」がバランスのとれた持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指すため、「誰一人取り残さない」「全ての人参加する」といった考えのもと、すべての国が取り組む世界共通の目標です。

[出典]松山市ホームページ

○ まちづくり計画の体系

全体目的 みんなでつくろう！！ 笑顔でつなぐ垣生のまち

住民同士が互いに垣生の人、自然、文化の調和について考え、学び、伝える精神を育むと共に、住民自らが地域について調査、研究を行い、課題を把握し、安全・安心、環境美化、福祉厚生、地域振興などの事業に取り組む事を目的とします。



こんなまちにしたい！

こんなまちにしたいという理想のまちの姿を、5つの分野別にあげています。

環境・都市計画

地域の自然を守り育てながら、さらに美しいまちへ、また、快適に住める生活環境が整っているまち

教育・文化

地域ぐるみで子どもたちや人材を育て、ふるさと垣生の歴史・文化を大切に伝えながら、地域の魅力を育むまち

安全・安心

災害に強く、防犯・交通安全への対策などが充実した、誰もが安全に安心して暮らせるまち

福祉

心も身体も健康で、こどもから高齢者まで生き生きと暮らせる、みんなにやさしいまち

地域活性化

地域に活力がみなぎり、住民の交流が盛んに行われ、地域の魅力があふれるまち

みんなでめざそう！

理想のまちの実現をめざし、分野別に主な取り組みと具体的な活動例をあげています。

【実現に要する取組期間の目標】
短期（1～3年）
中期（4～6年）
長期（7～10年）

【役割分担】
住民（住民主体）
協働（住民と行政が協働）
行政（行政主体）

こんなまちにしたい！

地域の自然を守り育てながら、さらに美しいまちへ、
また、快適に住める生活環境が整っているまち

みんなでめざそう！

■環境保全に努め、自然を守る

- 清掃活動に参加しよう [短期：住民]
 - ❖今出ヶ浜清掃や市民大清掃、町内会の清掃活動など
- 自然環境への意識を高めよう [短期：住民]
 - ❖環境学習会やバードウォッチング、希少生物の保護など
 - ❖今出ヶ浜の環境保全

■花や緑に囲まれた美しいまちづくり

- 花いっぱいのにししよう [短期：住民]
 - ❖花植えや休耕田を活用したレンゲ畑など
 - ❖花の種の配布活動
 - ❖地域を巻き込んで花壇づくりの推進活動

■ごみの減量や排出ルールの徹底に努める

- 家庭ごみを減らそう [短期：住民]
 - ❖ごみの堆肥化やごみゼロ運動で啓発など
- ごみ出しルールを徹底しよう [短期：協働]
 - ❖啓発看板の設置や不法投棄の撲滅など
 - ❖町内会でのゴミステーションの管理の推進

■エコ活動・資源の節約で環境にやさしいまち

- 家庭でできるエコ活動を推進しよう [短期：住民]
 - ❖エコバッグ、服のリメイク、マイ箸など
- エネルギー資源や水の節約を推進しよう [中期：協働]
 - ❖省エネ家電、太陽光発電、蓄電池、緑のカーテン、節水など

■快適に住める生活環境を整える

- 快適に住み続けられる環境を確保しよう [長期：協働]
 - ❖住居表示の整備推進
 - ❖空き家対策、空き地活用の推進
 - ❖はみだし樹木の整備推進
- いきいきと暮らせる環境をつくろう [長期：協働]
 - ❖サイクリングロード整備、交流の場づくりなど
- いきいきと暮らせる環境をつくろう [中期]
 - ❖小学校に複合施設建設の推進(垣生支所・垣生公民館建設推進)



自然を守ろう！今出ヶ浜清掃



こんなまちにしたい！

地域ぐるみで、こどもたちや人材を育て、ふるさと垣生の歴史・文化を大切に伝えながら、地域の魅力を育むまち

みんなでめざそう！

■郷土の歴史・文化を継承

- 郷土の偉人や歴史を知ろう [短期：住民]
 - ❖ 鍵谷カナ、村上霽月、石田波郷の勉強会など
- 郷土が生んだ偉人たちの精神を受け継ぐ人づくり [中期：住民]
 - ❖ 鍵谷祭スタンプラリー、ふれあい親子史跡めぐりなど
- 郷土資料室の設置 [中期：協働]
 - ❖ 伊予絣の織機等収集展示
 - ❖ 村上霽月・石田波郷等俳句資料の収集展示
- 地域行事や伝統文化行事を次世代へ伝えよう [短期：住民]
 - ❖ 鍵谷祭、しめ縄づくり、亥の子等、各祭りの伝承など
 - ❖ パンフレット・書籍の発行
 - ❖ ホームページの開設による情報発信を行う



鍵谷カナ頌功堂

■次世代の担い手・人材を地域で育成

- 学習会・講演会・ワークショップ等を通じてスキルアップしよう [短期：住民]
 - ❖ 俳句教室や郷土料理教室の開催など
 - ❖ 事業部会等への参加啓発の推進
- こどものコミュニケーション能力を向上しよう [短期：住民]
 - ❖ 多世代との交流を図るため、各種地域行事への参加啓発をする
- 地域をよく知る人材を育てよう [中期：住民]
 - ❖ 各種ボランティアガイドの育成など



絣織の風景

■地域の魅力を育む発信

- 地域の良いところを見つけよう [中期：住民]
 - ❖ まち歩き、歴史探訪、句碑めぐり、ガイドマップの作成など
- 地域の魅力を発信しよう [中期：住民]
 - ❖ 伊予絣を用いた啓発、探訪コース活用、SNS活用など
 - ❖ 垣生音頭の普及



今出西国三十三観音霊場めぐり



こんなまちにしたい！

災害に強く、防犯・交通安全への対策などが充実した、誰もが安全に安心して暮らせるまち

みんなでめざそう！

■災害に強いまちづくり

- 平常時にできる備えをしよう [中期：協働]
 - ❖家具の転倒防止、ローリングストック備蓄など
 - ❖河川水路・港湾等の点検など
 - ❖災害情報の収集(防災アプリ・テレビのデータ・防災無線放送)
- 防災訓練や啓発を強化しよう [中期：協働]
 - ❖防災訓練の充実、広報、防災かるた取りなど
- 災害時の支援体制をつくろう [中期：住民]
 - ❖各自主防災組織間の情報の共有、要支援者支援、隣近所とのコミュニケーションなど



垣生地区総合防災訓練

■防犯対策の推進

- 防犯の啓発を強化しよう [短期：住民]
 - ❖特殊詐欺手口の情報提供、啓発チラシの配布など
- 防犯灯の点検をしよう [短期：住民]
 - ❖防犯灯の設置及び維持管理など

■交通安全対策の推進

- 交通ルールやマナーを守ろう [短期：住民]
 - ❖自転車の交通安全教室、路上駐車など
- 交通事故をなくそう [短期：協働]
 - ❖こどもの見守り、カーブミラーの点検、通学路の安全確保、高齢者の安全対策など
 - ❖自転車ヘルメットの着用を推進する



こんなまちにしたい！

心も身体も健康で、こどもから高齢者まで生き生きと暮らせる、
みんなにやさしいまち

みんなでめざそう！

■福祉活動を推進する

○地域で高齢者を支えよう [中期：住民]

- ❖ 独居高齢者への家庭訪問、サロンの活用、買い物支援など
- ❖ まちづくり協議会と地域包括支援センターや地域各種団体との協力体制の構築

○地域で子育てを支えよう [中期：住民]

- ❖ 子育て相談、高齢者との交流の場づくりなど
- ❖ 公民館主催の子育てサロンの活用
- ❖ 地域としてこども食堂への取り組み推進



高齢者サロンの風景

■健康づくりを推進する

○健康について学ぼう [短期：住民]

- ❖ 食と健康の講座、健康促進のための講座など

○身体を動かして体力をつけよう [短期：住民]

- ❖ 健康ウォーキング、健康体操の普及、高齢者スポーツの支援など

○病気を予防しよう [短期：住民]

- ❖ 高齢者を中心とした健康診断の促進及び生活改善の啓発など

○地域住民の健康増進を図り、心と体の促進を図る [短期：住民]



高齢者サロン ディスコン



公民館 グラウンドゴルフ大会



こんなまちにしたい！

地域に活力がみなぎり、住民の交流が盛んに行われ、地域の魅力があふれるまち

みんなでめざそう！

■地域資源を活用

- 特産物の魅力を見出そう [長期：住民]
 - ❖ たこ飯の普及、特産品開発、果樹産業の振興、垣生のブランドづくりなど
- 垣生の魅力を発信しよう [短期：住民]
 - ❖ 地域情報の収集と発信、ホームページ等の活用など

■住民相互の交流

- 地域活動を盛り上げよう [短期：住民]
 - ❖ 地域の祭りや行事への参加促進、若い世代の参画など
- 伝統行事の継承と掘り起こし [短期：住民]
 - ❖ 龍王祭・春祭・輪越し祭・住吉祭・えびす祭・阿弥陀様祭り・秋祭り
 - ❖ どんど焼き・垣生のまつり
- あいさつを交わそう [短期：住民]
 - ❖ 地域全体であいさつ運動の推進
- 東西の垣生、新旧の垣生の融和を推進 [中期：住民]
 - ❖ 各組織間の助け合い、垣生の便利帳作成、連携強化に向けた話し合いの場づくりなど



秋祭り



垣生のまつり



資料. 地区の沿革と郷土の偉人

○ 垣生地区の沿革と郷土の偉人

1. 垣生地区の沿革

647年	大化3年	餘戸の里の一部として垣生地区誕生。
713年	和銅6年	郷名を用いる事になり、餘戸の郷という。
983年	永観元年	倭名類聚鈔の書に、久米郡に天山、吉井、餘戸の郷名が記載。
1587年	天正15年	餘戸の郷は分封丈量により久米郡から伊予郡に編入。
1597年	慶長2年	郷色名廃止し郡村を用いる。 餘戸の郷は市坪村、保免村、餘戸村、垣生村に分かれる。
1846年	弘化3年	垣生村が分村により、東垣生村と西垣生村に分かれる。
1878年	明治11年	郡区長村編成法発布、大小区を廃止し郡村をおく。 市坪村、保免村、余戸村、東垣生村、西垣生村を河北5ヶ村と称し、伊予郡に属した。
1888年	明治21年	河北5ヶ村合併方を郡より進められたが、垣生村と余土村に分村し町村制を実施する。
1890年	明治23年	東・西垣生の二村が合併して垣生村と改称する。
1897年	明治30年	垣生村が改めて温泉郡に編入される。
1944年	昭和19年	垣生村と生石村と道後湯之町が、松山市に合併する。 松山市大字東垣生、大字西垣生となる。
1969年	昭和44年	字の廃止により、現在の東垣生町・西垣生町になる。

2. 郷土の偉人

かぎや

※鍵谷 カナ

天明 2 年 (1782 年) ~ 元治元年 (1864 年)



鍵谷カナは、伊予絣の創始者である。伊予国伊予郡垣生村（はぶむら）今出（現在の西垣生町）に生まれる。農家に嫁いでからその傍ら、伊予縞の布を織っていたが、それに魅せられ、享和年間に新しい絣模様を考案、織屋の菊屋新助が考案した高機を使って織り出して出身地名を使い今出絣を完成した。そして、後に伊予絣として生まれた。

鍵谷カナの命日の5月28日には、毎年地域の人々によって長楽寺（西垣生町1250：頌功堂の正面）を中心に、鍵谷祭（鍵谷カナ媼頌功会主催、垣生公民館共催）が開かれている。

むらかみ せいげつ

※村上 霽月

明治 2 年 (1869 年) ~ 昭和 21 年 (1946 年)



愛媛県伊予郡垣生村（現・松山市西垣生町）の生まれ。本名は半太郎。松山中学の先輩正岡子規や内藤鳴雪の指導を受け、『ほととぎす』に参加、選者となり「業余（ぎょうよ＝本業の仕事以外にする仕事。余暇にする仕事）俳諧」を主唱し、俳句の伝統性に新生面を開いた。また、実業家としては、家業を継ぎ「今出（いまず。伊予絣《かすり》の発祥の地。当時は「今出絣」と呼ばれていた）絣株式会社」の社長となる。

さらに伊予農業銀行、愛媛県信用組合連合会を設立して地元経済、特に農業経済に大きく貢献をした。常に、和服で端然として、おもむろに長いあごひげをなでる仕草の気高い気品を備えた謹厳実直な人であったといわれており、みずからの句境をひらいた天性の俳人にして実業家。

なお、霽月とは雨が上がったあとの月。転じて、曇りがなくさっぱりとした心境のこと。

いしだ はきょう

※石田 波郷

大正 2 年 (1913 年) ~ 昭和 44 年 (1969 年)



明教館（松山東高）の肖像画

愛媛県温泉郡垣生村（現・松山市）に生まれ、本名は哲大（てつお）。松山中学校（現松山東高校）在学中に同級生の中富正三（俳優・故大友柳太郎）の勧めで俳句を始め、村上霽月（せいげつ）に手ほどきを受けた後、五十崎古郷に師事、波郷と号した。

水原秋櫻子（1892～1981東京生まれの俳人）の句集『葛飾』を読んで感動、上京して秋櫻子に師事。1937（昭和12）年、俳誌「鶴」創刊、主宰者となる。戦後の俳壇を先導し、わが国の俳句文学に大きな功績を残した昭和の俳聖。

なかや まんきち
※中矢 万吉 文化元年(1804年)～明治25年(1892年)

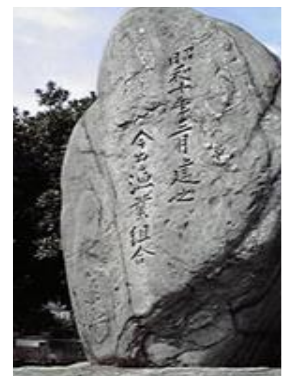
初代万吉は文化元年に西垣生に生まれたが、松山藩の信頼を受け、藩主他界後に慣行による定置漁場の御下渡しを受けた。その子熊蔵が二代目万吉となり、その権利を継承したが、大正3年に亡くなった際、その後継者がいなかったことから、その権利は今出漁業組合に移管された。また、重信川の砂利採取権利も同漁業組合に移管された。その後、多額の収益を得られたことから、昭和10年に住吉神社にその功績を称え、三原新四郎と二人の頌功碑が建立された。



みはら しんしろう
※三原 新四郎 天保4年(1833年)～明治39年(1906年)

三原新四郎は、明治7年に今出港舟入江に黒色海苔が付着していることを発見し、更に明治9年に、その子浅五郎が重信川に青色海苔が生成されているのを見つけ、これを生産にするに及んだが、大量収益にはならず、浅五郎がその志を継ぎ組合を組織し生産に従事した結果、海苔の生産量は増加し、次第に収益を得るに至った。

その後、今出漁業組合により昭和10年に住吉神社にその功績を称え、中矢万吉と二人の頌功碑が建立された。



にいの いさぶろう
※新野 伊三郎 明治7年(1874年)～昭和29年(1954年)



新野氏は村の今出紺KK(社長 村上半太郎)の取締役となり折々出仕する傍ら、愛媛新報社にも入社して地方の政党人、有志家、実業家等との接触をもった。その後、29才の若さで村長となり、その後体調を崩して36歳のときに辞任する。病氣療養の後、松山信託KKを創立し、地方金融界への第一歩を踏み出した。

しかし当時の経済界の情勢は銀行の新設は困難であったので、吉田銀行の営業権を買収継承し、伊予銀行と改称して、開業の運びとなった。全行員を指揮して、着々と業績をあげたが、昭和十六年国策による一県一行主義の方針に即して、25年間心血を注いだ伊予銀行は発展的に解散となり、その営業を松山五十二銀行に譲渡した。それと同時に、松山信託KKの後身である松山証券KK(社長 新野伊三郎)も解散した。

また、氏は現伊予鉄道にも伊豫水力電気KK時代を含め42年間という長きに亘り、井上要氏の側近にあって、取締役となり、又一時的には会長と社長を兼任するなど役員として、鉄道事業にも多大の貢献をした。

みよし たんこう
※三由 淡紅

明治 11 年 (1878 年) ~ 昭和 34 年 (1959 年)



淡紅は本名を忠太郎といい、明治 11 年に現在の北条辻で生まれ、5 歳の時父と死別する。15 歳で西垣生の今出緋会社に入った時より、今出との関係がはじまる。同社の頭取が村上霽月であった。

やがて淡紅は霽月から俳句の手ほどきを受けるようになる。明治 37 年頃から緋仲買を生業とし、句作と北条・鹿島の開発に力を注いだ。鹿島の難所に私財を投げうって橋をかけ鹿島周辺道の足がかりを作ったのが淡紅である。

そして、この橋に百石橋と名付けたのが虚子である。鹿島に碧梧桐や為山、虚子、東洋城らの俳人を案内したのも淡紅。鹿島に愛着を抱くあまり、俳人仲間から「鹿島狂」「鹿島探題」などと呼ばれたほどである。しかし、碧梧桐は「信ずる所に突進するは、明治の今日、初めて見るべき俳諧奇人伝中の異彩」と称賛している。毎月の子規会に、風呂敷包みを首に巻き、ぞうりに竹の杖で正宗寺を訪れていた淡紅の姿は今も語り草になっている。

昭和 34 年の子規忌に「急病で糸瓜も切れぬ力かな」と詠んだのが辞世となった。

○正岡子規、夏目漱石、高浜虚子が訪れた霽月邸宅跡



○石田 波郷の句碑

「雀らも 海かけて飛べ 吹流し」

「秋いくとせ 石鎚を見ず 母を見ず」



松山市立垣生中学校の碑



松山市立垣生小学校の碑



提供 垣生公民館

第2次垣生地区まちづくり計画

編集／発行 垣生地区まちづくり協議会

計画期間 令和8年5月～令和18年4月